

職人ユーチューバー

東京大学 特任教授・建築学
松村 秀一
Shuichi Matsumura

オンライン飲み会

終息の気配を見せない新型コロナウイルス。かれこれもう一年半になる。リアル飲み会はなくなつたが、オンライン飲み会は増加傾向にある。

この飲み会は出入りが自由だし、普通だとなかなか一緒に飲めないような遠隔地の方々とも気軽に会えるので、ついつい回数が増えてしまう。

そうしたオンライン飲み会の中に、工務店経営者数名を含むものがある。月一で一年以上続いている。各地の市場動向、建材流通事情や職人事情など、経営者の方々ならで

はのリアルな話が聞けるので、楽しませて頂いている。

なかでもしばしば話題になるのがユーチューブ。時代である。コロナ禍になってから本格的に動画配信を始めた方が、この飲み仲間の中にも何名かいて、ユーチューブが以前は想像もしていなかった顧客獲得の機会になつていいると言う。顧客の選

別に苦勞しているというような話すら出てくる。

内田先生にも喜んで頂けた動画

そんな飲み会で、ある時「先生は、ごく最近の大工の仕事ぶりをじっくり見たことはありませんか？」



チャンネル登録者数20万人を超えているYouTubeチャンネル「大工の正やん」の動画(提供:大工の正やん)

が、ものづくりが好きだから迷いなくこの世界に入ったと、楽しそうに話すのがとても印象深い。職人ともものづくりの関係、そこにある初心。それを思い出させてくれる良い経験になつた。

最後に報告があります

さて、本連載も間もなく丸六六年になります。二〇一六年四月〜二〇二二年四月の拙稿に、同時期に他誌などに発表した複数の拙稿も合わせて、加筆修正を施し、新たな編集によって『建築の明日へ 生活者の希望を耕す』(平凡社新書、二〇二一年七月)という新書を出版致しました。皆様手に取って頂ければ望外の幸です。



『建築の明日へ 生活者の希望を耕す』
著者: 松村秀一
仕様: 新書判 / 216ページ

本連載の前回(八月号)では、五月に亡くなられた故内田祥哉先生について思い出を書かせて頂いたが、実はお亡くなりになる三カ月前に、先生も変化のない巣ごもり生活が続いてさぞかし退屈されていることだろうと思ひ、このユーチューブの動画をお薦め申し上げ、後々間接的にはあるが、先生も大変に楽しまれたとうかがった。

女大工とものづくりの初心

その際、他に面白い動画はないかと先生がお尋ねになつたとうかがっているが、コロナ禍の中で配信を始めた施工ものや職人ものは、かなりの種類があるし、視聴回数も増えて

いるものが多い。

個人的に目につくのは「女大工」のもの。まだまだ熟練の域に達してはいないものの、DIY志向の人や大工になつてみたい人向けにいろいろと説明付きでやって見せるという類もあるし、初体験の工事にどんなにチャレンジして、もっと良い方法は? と視聴者に問いかける交流型の動画もある。どの女性大工も工事を楽しんでいるところに、とても好感が持てる。この種の動画とその

視聴者が増えていけば、職人志望の女性も男性も増えることに大いに期待が持てると思う。

実は今年になって、国土交通省の「大工技能者等の担い手確保・育成事業」の各地の参加者の中に、結構な数の女性大工が含まれていることに気付き、その方々を対象に、大工になつた動機や仕事のやりがいなどを聞き取り始めた。詳細な報告は別の機会に譲るが、既に一〇名程の方に話をうかがった。ほとんどの人